

《Ⅱ 中堅・中小企業》

1 景気・需要見通し

(1) 我が国の経済成長率見通し

- 中堅・中小企業の「次年度（令和2年度）」の我が国の実質経済成長率の見通し（実数値平均）は0.9%（前年度調査1.2%）。「次年度（令和2年度）」の我が国の名目成長率の見通しは0.9%（同1.5%）。
- 「今後3年間（令和2～4年度平均）」、「今後5年間（令和2～6年度平均）」の我が国の実質経済成長率の見通しは、いずれも0.8%（前年度調査では、「今後3年間」は1.2%、「今後5年間」は1.1%）。

〔第2-1-1表〕 我が国の経済成長率見通しの推移

（単位：％）

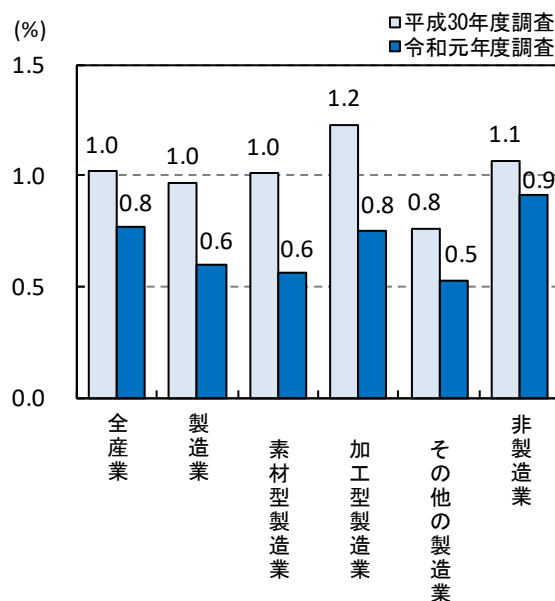
調査年度	名目経済成長率			実質経済成長率		
	次年度の見通し	今後3年間の見通し	今後5年間の見通し	次年度の見通し	今後3年間の見通し	今後5年間の見通し
平成 28（2016）年度	1.7	1.7	1.7	1.0	1.0	1.0
29（2017）	1.5	1.6	1.4	1.1	1.2	1.0
30（2018）	1.5	1.5	1.4	1.2	1.2	1.1
令和 元（2019）年度	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8

注）各年度の「見通し」は、例えば、令和元年度調査における「次年度の見通し」は令和2年度の見通し、「今後3年間の見通し」は令和2～4年度の見通し（年度平均）、「今後5年間の見通し」は令和2～6年度の見通し（年度平均）を表す。

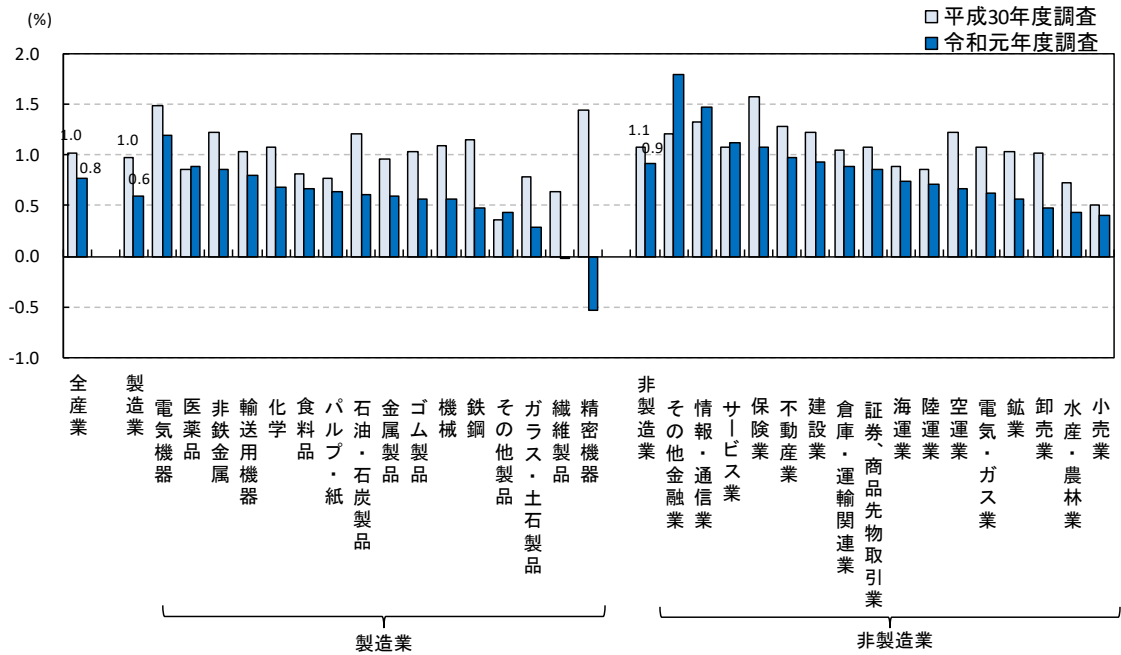
(2) 業界需要の成長率見通し

- 中堅・中小企業の「次年度（令和2年度）」の業界需要の実質成長率の見通し（全産業・実数値平均）は0.8%（前年度調査1.0%）。製造業は0.6%（同1.0%）、非製造業は0.9%（同1.1%）。
- 業種別に「次年度（令和2年度）」の業界需要の実質成長率の見通し（実数値平均）をみると、製造業は「電気機器」（1.2%）、「医薬品」（0.9%）など、非製造業は「その他金融業」（1.8%）、「情報・通信業」（1.5%）などが高い。
- 「今後3年間（令和2～4年度平均）」、「今後5年間（令和2～6年度平均）」の業界需要の実質成長率の見通し（全産業・実数値平均）は、いずれも0.8%（前年度調査では、「今後3年間」は1.0%、「今後5年間」は0.9%）。

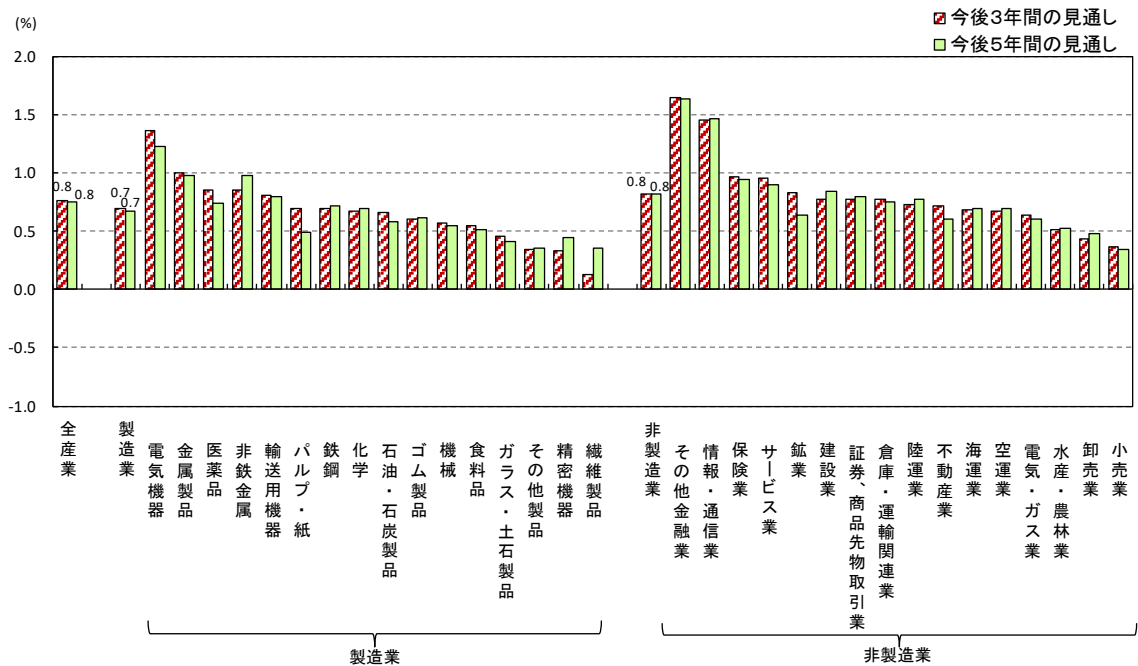
[第2-1-1図] 産業別 次年度の業界需要の実質成長率見通し（前年度調査との比較）



[第2-1-2図] 業種別 次年度の業界需要の実質成長率見通し（前年度調査との比較）



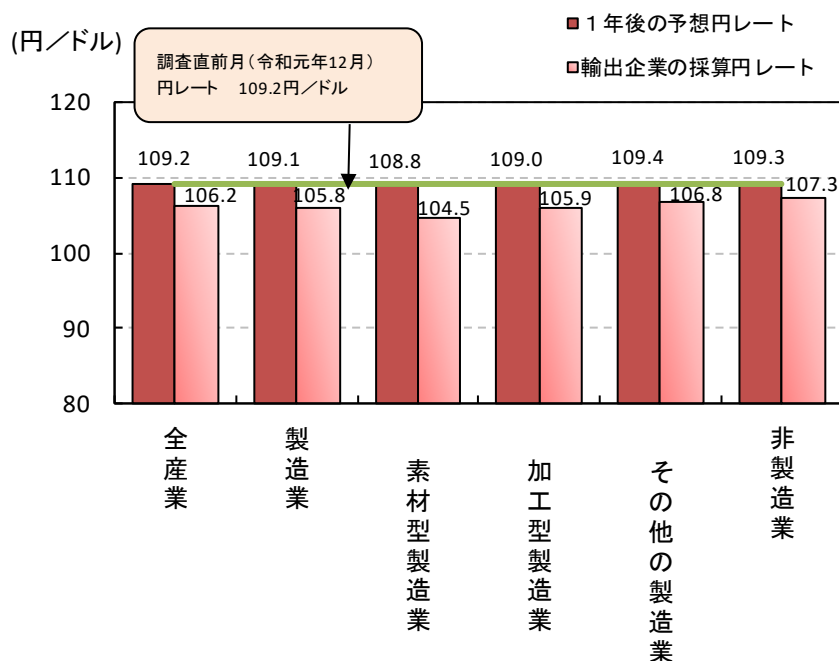
[第2-1-3図] 業種別 今後3年間・今後5年間の業界需要の実質成長率見通し



2 為替レートの見通し

- 中堅・中小企業の1年後（令和3年1月ごろ）の予想円レート（全産業・階級値平均）は109.2円／ドルであり（前年度調査111.7円／ドル）、調査直前月（令和元年12月）の円レート（109.2円／ドル）と比べると同じとなっている。
- 輸出企業の採算円レート（実数値平均）は106.2円／ドルである（前年度調査106.9円／ドル）。1年後の予想円レートと比べると、3.0円の円高となっている。
- 輸出企業の採算円レートが、製造業は105.8円／ドル、非製造業は107.3円／ドルとなっている。調査直前月の円レートと比べると、製造業では3.4円の円高、非製造業では1.9円の円高となっている。
- 輸出企業の採算円レートの平均値と比べると、業種別では、「非鉄金属」や「鉄鋼」などで円高水準に、「小売業」、「陸運業」、「保険業」などで円安水準にある。

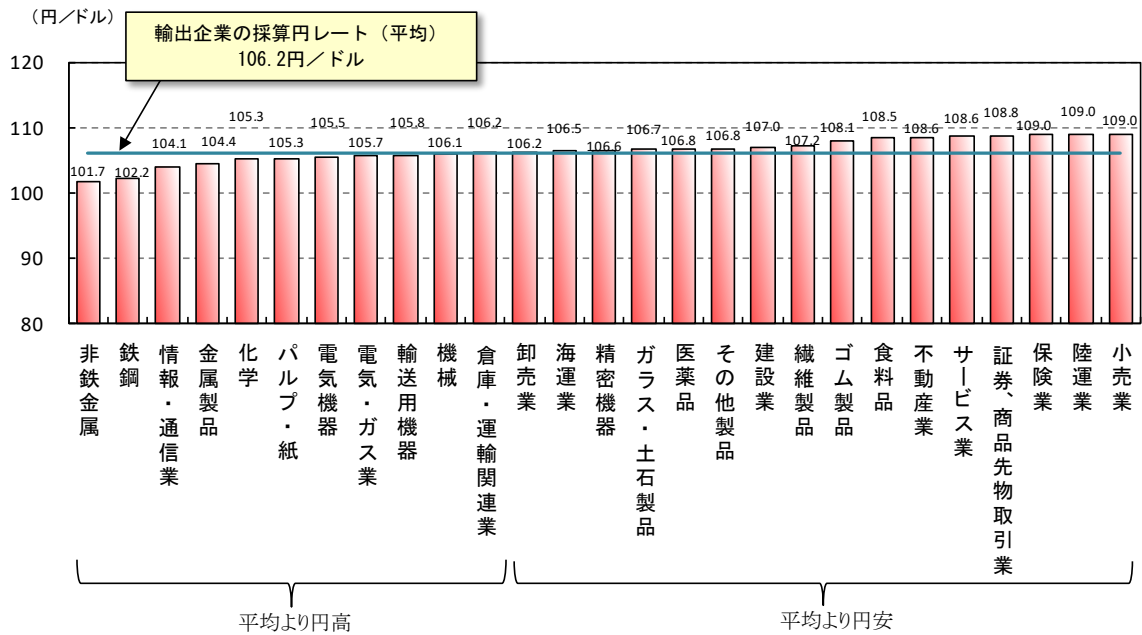
【第2-2-1図】 産業別 1年後の予想円レート及び輸出企業の採算円レート



注1) 「1年後の予想円レート」は階級値平均、「輸出企業の採算円レート」は実数値平均の値である。

注2) 「輸出企業の採算円レート」は、輸出を行っている企業のみのである。

〔第 2-2-2 図〕 業種別 輸出企業の採算円レート



注1) 「輸出企業の採算円レート」は、輸出を行っている企業のみ値 (実数値平均) である。

注2) 業種については、回答企業が5社以上の業種とした。

〔第 2-2-1 表〕 1年後の予想円レート及び輸出企業の採算円レートの推移

(単位: 円/ドル)

調査年度	1年後の 予想円レート	輸出企業の 採算円レート	調査直前月の 円レート	差	
				1年後の予想円レート - 輸出企業の採算円 レート	調査直前月の円レート - 輸出企業の採算円 レート
平成 28 (2016) 年度	113.1	105.6	116.0	7.5	10.4
29 (2017)	113.9	106.4	113.0	7.5	6.6
30 (2018)	111.7	106.9	112.5	4.8	5.5
令和 元 (2019) 年度	109.2	106.2	109.2	3.0	3.0

注1) 「1年後の予想円レート」は階級値平均、「輸出企業の採算円レート」は実数値平均の値である。

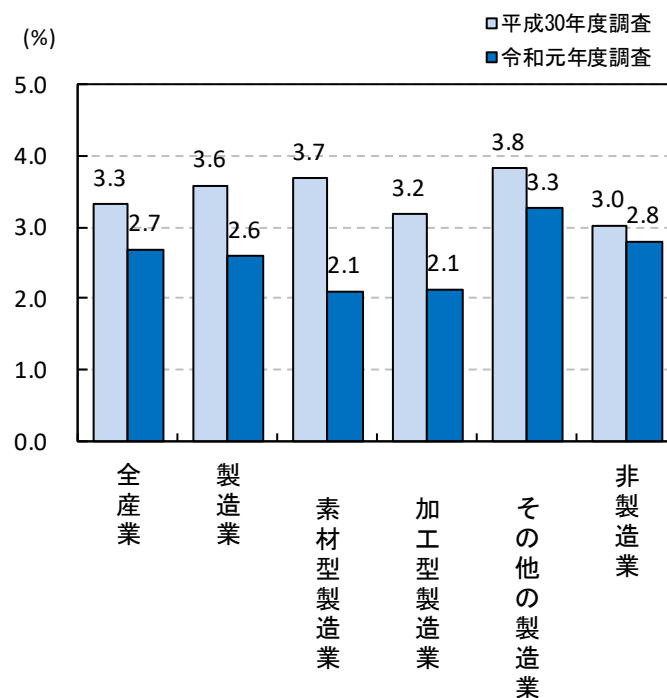
注2) 「輸出企業の採算円レート」は、輸出を行っている企業のみ値である。

注3) 「調査直前月の円レート」は、いずれも12月の値である。

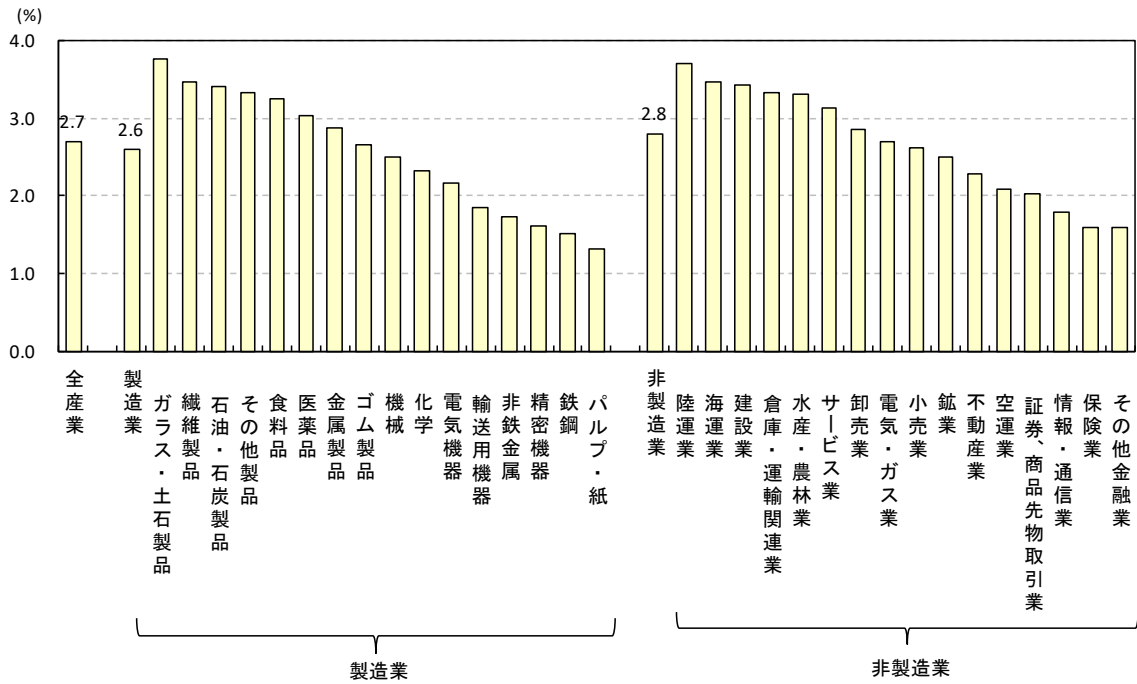
3 価格の見通し

- 中堅・中小企業の1年後の平均仕入価格の見通し（全産業・階級値平均）は2.7%上昇（前年度調査3.3%上昇）。
- 1年後の平均販売価格の見通し（全産業・階級値平均）は1.3%上昇（前年度調査1.8%上昇）。
- 1年後の平均仕入価格の予想上昇率が1年後の平均販売価格の予想上昇率を上回るため、交易条件は▲1.4%ポイント（全産業）と悪化する見通し。
- 製造業では「医薬品」、「電気機器」、「ゴム製品」など、非製造業では「水産・農林業」、「サービス業」、「海運業」などにおいて、交易条件の悪化の程度が大きい見通しとなっている。

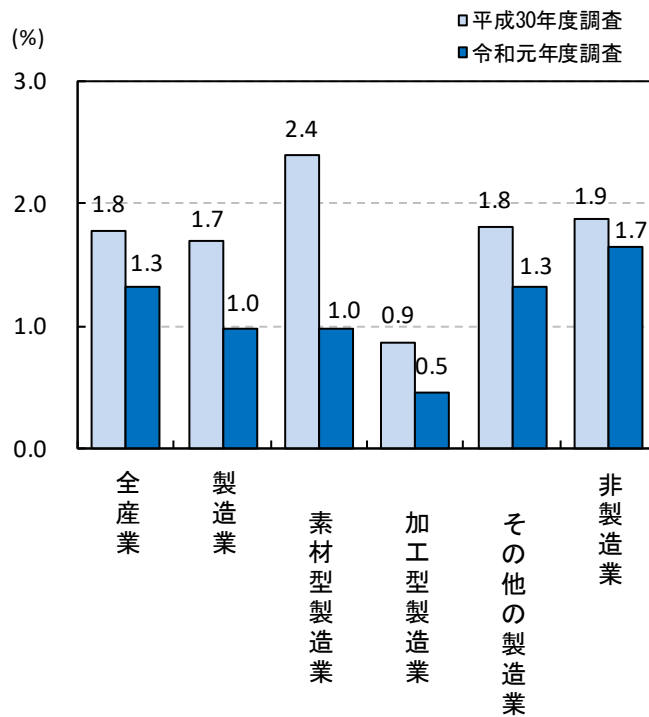
〔第2-3-1図〕産業別 1年後の平均仕入価格の見通し（前年度調査との比較）



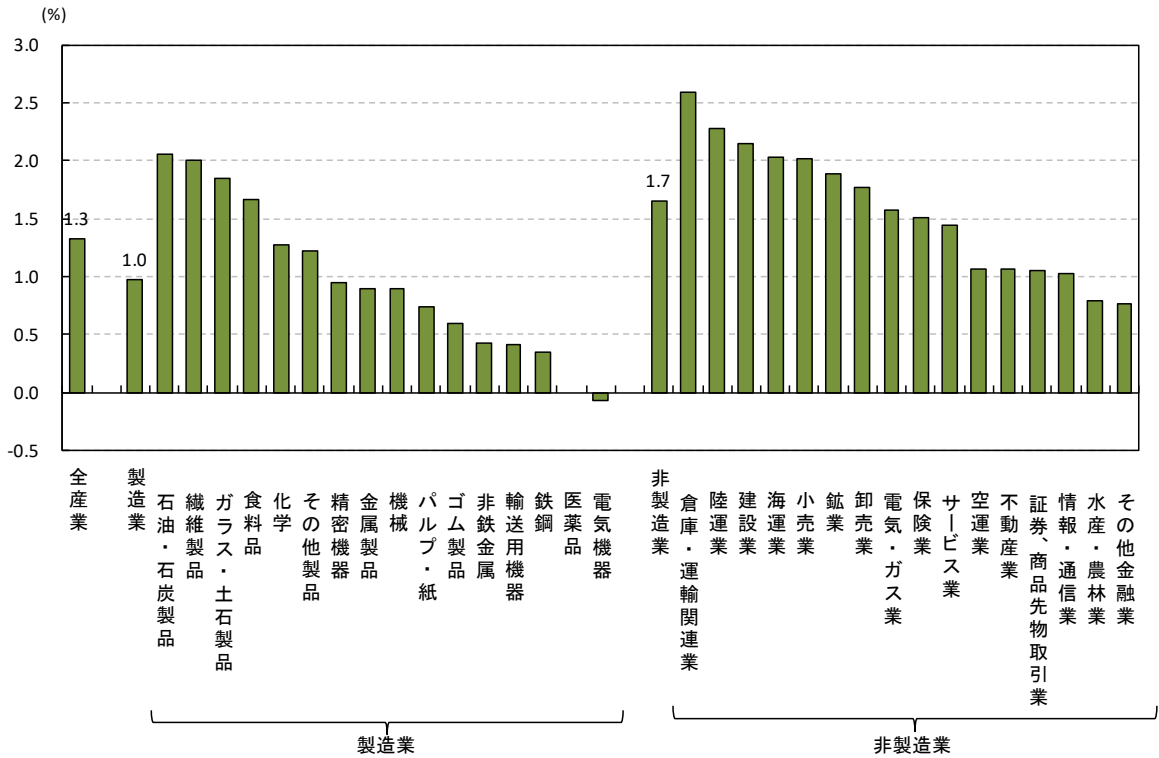
[第2-3-2図] 業種別 1年後の平均仕入価格の見通し



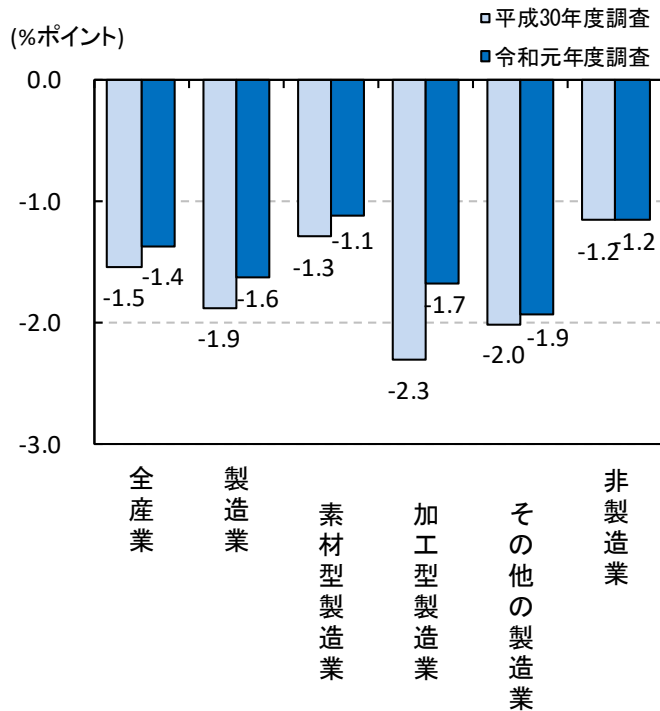
[第2-3-3図] 産業別 1年後の平均销售价格の見通し (前年度調査との比較)



[第 2-3-4 図] 業種別 1年後の平均販売価格の見通し



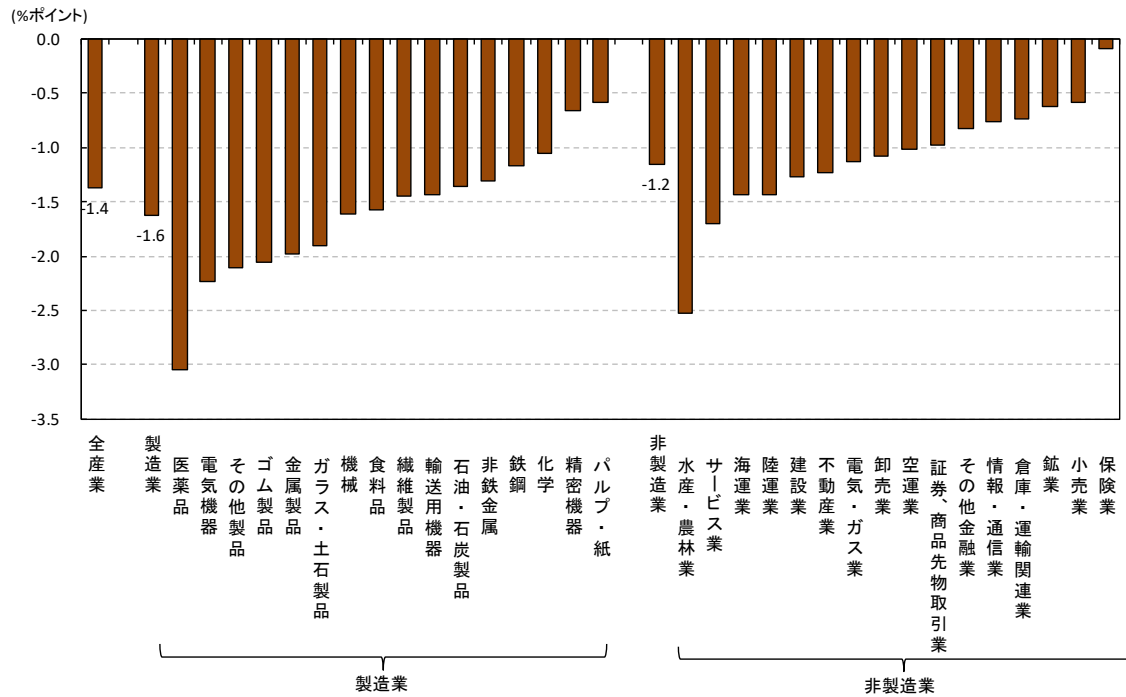
[第 2-3-5 図] 産業別 交易条件の見通し (前年度調査との比較)



注 1) 交易条件 = 平均販売価格の変化率 - 平均仕入価格の変化率

注 2) 交易条件は、統計資料《Ⅱ 中堅・中小企業》3-1、3-2から算出した値である。

[第 2-3-6 図] 業種別 交易条件の見通し



注 1) 交易条件 = 平均販売価格の変化率 - 平均仕入価格の変化率
 注 2) 交易条件は、統計資料《Ⅱ 中堅・中小企業》3-1、3-2から算出した値である。

[第 2-3-1 表] 産業別 1年後の平均仕入価格・平均販売価格の見通し及び
 交易条件の見通し

(単位：％、％ポイント)

	平均仕入価格		平均販売価格		交易条件		
	平成30年度調査	令和元年度調査	平成30年度調査	令和元年度調査	平成30年度調査	令和元年度調査	
全産業	3.3	2.7	1.8	1.3	-1.5	-1.4	
産業	製造業	3.6	2.6	1.7	1.0	-1.9	-1.6
	素材型製造業	3.7	2.1	2.4	1.0	-1.3	-1.1
	加工型製造業	3.2	2.1	0.9	0.5	-2.3	-1.7
	その他の製造業	3.8	3.3	1.8	1.3	-2.0	-1.9
	非製造業	3.0	2.8	1.9	1.7	-1.2	-1.2

注 1) 交易条件 = 平均販売価格の変化率 - 平均仕入価格の変化率
 注 2) 交易条件は、統計資料《Ⅱ 中堅・中小企業》3-1、3-2から算出した値である。